

速



北陸中日新聞

報

銅団体ジャンプ



ジャンプ団体で銅メダルを獲得し、花束を手に喜ぶ（左から）清水礼留飛、竹内択、伊東大貴、葛西紀明＝ソチで（内山田正夫撮影）

ソチ五輪

16年ぶりメダル

【ソチ＝本社五輪取材団】ソチ五輪第十一日の十七日、ノルディックスキーク・ジャンプ男子団体（HS百四十メートル、K点百二十五メートル）で、清水礼留飛（雪印メグミルク）竹内択（北野建設）伊東大貴（雪印メグミルク）葛西紀明（土屋ホーム）の日本が銅メダルを獲得した。

日本選手団のメダルは今大会六個目。ドイツが三大会ぶりに優勝、銀メダルはオーストリア。

ジャンプ団体で日本が表彰台に立ったのは、一九九八年長野五輪以来十六年ぶり三度目。四十一歳のエース葛西を中心に、二十八歳の伊東、二十六歳の竹内、二十歳の清水が、欧州の強豪国を相手に日本の実力を示した。葛西のメダル獲得は、九四年リレハンメル五輪団体の銀、十五日のラージヒルの銀に続いて通算三個目。